

**第4回 清瀬市農業振興計画策定委員会  
議事要旨**

日 時：平成28年11月24日  
午後2時00分～午後3時30分

場 所：清瀬市役所4階 第1・2委員会室

出席者：北沢 俊春、関 昇司、佐藤 道子、松村 俊夫、岸 勇次、新井 誠子、小糸 忠司、  
金子 秀計、松村 一夫、石井 清道、増田 光紀、伊東 弘次、小林 一義、  
吉岡 袈裟喜、今安 典子（15名）

事務局：産業振興課長、産業振興係長、産業振興担当職員1名（3名）

※敬称略。

《次第》

1. 開会
2. 議題
  - (1) 第3次農業振興計画の素案について
  - (2) その他

《配布資料》

1. 第3次農業振興計画概要
2. 農業振興計画策定に係る農家アンケート結果
3. 農業振興計画策定に係る農家アンケート結果（認定農業者：その他比較）
4. 農業振興計画素案

《審議経過》

1. 開会
  - 産業振興課長より本日の進め方について説明
  - 松村会長より挨拶
2. 議題
  - 第3次農業振興計画の素案について事務局より説明
  - 意見を募集した将来像（スローガン）について、7案の中から決定した

## 2. 議題

- 会 長： 只今事務局より農業振興計画の素案について説明がありました。  
何かご意見、ご質問等ございましたら挙手をお願いします。
- 小林委員： 全体的なことではあるが、末尾が統一されていないので統一した方がいい。  
また、地産地消のところですが、支援を検討して参りますとなっている。  
10年間の計画なので、実現出来るように検討するという表現にとどめるのではなく、拡充を進める等のもっと前向きに実現に向かった表現にして欲しい。  
これは全体的にそうっており、検討すると言うような表現は避けるべきと考える。
- 事務局： 表現に関しては再度校正をして全体的に修正し、計画の実現に向けた取り組みが出来る様修正いたします。
- 金子委員： ブランド化についてですが、これまではベータキャロットや、トウモロコシ、大根など品目を特定したブランド化ばかりだったが、なかには単発で終わってしまうものもあった。今度は継続できるような形で考えたい。  
また、加工品や6次産業化についてはこれからまだまだ取組まなくてはならないと考えている。  
また、市内農業のPR いろんな手法を活用してもらいたい。
- 吉岡委員： 私たち消費者は、中には食べ方等もわからないものもある。生産者からそういった情報発信があればよりよいと感じる。
- 石井委員： 花卉クラブのメンバーから出た意見ですが、市内には薬科大や社会事業大学などもある。例えば、野菜のこの栄養成分にはどういった効用があるか、そういったものもPRになるのではないか。
- 会 長： 他はい、ありがとうございます。  
各委員、何かご意見ご質問等ございますでしょうか。  
宜しいでしょうか。

### 3. その他

- 会 長： それでは、農業振興計画について何か全体を通してご意見ご質問等ございますでしょうか。宜しいでしょうか。  
それでは、策定までのスケジュールについて事務局から説明をお願いします。
- 事 務 局： それでは、本日頂きました内容を基に、再度事務局で修正した振興計画の案を12月2日までに送付いたします。  
その計画案をご確認いただき、ご意見がある場合には12月9日までにお願ひ致します。  
最終的に修正したものは、皆さんに別途送付いたします。  
12月に会長、副会長で策定委員会の案として市長に答申致します。  
その後、市民の意見を受け付けるパブリックコメントを実施いたしまして、その後最終的な計画が策定されます。  
委員会は本日が最後になりますので、最終的な修正は事務局と会長に一任して頂く形よろしいでしょうか。
- 会 長： はい、ありがとうございます。  
本日で委員会は最終となりますが、皆様より活発なご意見を頂き、有意義な委員会になったのではないかと思います。委員の皆様には委員会の運営にお力添えを頂き大変感謝しております。  
それでは閉会といたします。